



## 平成 17 年事業報告書

特定非営利活動法人 名古屋外科支援機構

### 1. 事業実施の概略

特定非営利活動法人 名古屋外科支援機構は外科学・外科診療に関連する知識・技術をもつ者が、互いに協力し外科学・外科診療に関して調査研究及び教育普及活動、並びにその支援を行う事を目的として次の事業を行った。具体的には、本法人の定款第5条第1項②および⑤の事業として、平成17年5月11日から13日まで名古屋国際会議場で開催された第105回日本外科学会学術総会に合わせて市民公開展示「名古屋大学第一外科のあゆみ」を企画立案し、第105回日本外科学会定期学術集会会長と契約を締結・実行した。⑥の事業として、平成17年4月23日に、健脚を血管病から守る公開シンポジウム事務局、春日井市民病院とともに、第11回健脚を血管病から守る公開シンポジウムを開催した。平成17年7月7日から8日まで名古屋国際会議場で開催された第25回日本静脈学会総会のために協力を得られる企業を募り、総会の参加費だけではまかないきれない総会運営を援助し、また市民公開講座「静脈とリンパの病気」を開催し、200名近い市民の参加を得た。また、平成17年7月8日に名古屋国際会議場で開催された第15回下肢静脈瘤硬化療法研究会に対しても同様に、協力を得られる企業を募り、援助した。平成18年6月17日に名古屋で開催予定の第127回日本循環器病学会東海地方会開催のために協力を得られる企業を募り、総会の参加費だけではまかないきれない総会運営に必要な資金を援助する体制を作った。①の事業として、名古屋大学器管調節外科で施行されている専門的な外科手術手技を習得するために国内留学した外科医師に対して、本法人が借主となっている住居を滞在中の宿舎として使用させた。

また、定款第5条第1項⑦として、名古屋大学医学部第一外科ユニットの同門会である「同心会」の事務業務の受託を継続した。また、第105回日本外科学会学術総会の市民公開講座の運営に関する事務業務を受託し、終了した。

同条第1項⑧に基づく事業として、株式会社メディコンの人工血管（製品名ディスタフロー）に関する多施設臨床共同研究のプロトコルを本機構で作成しメディコンに提案し、平成17年1月に本機構と委任受託契約を締結し、研究を開始した。

